

読書のすゝめ

その30 H 29 12 / 21

生徒図書委員会中央研修会参加報告

12月13日、県民文化センターで開催された図書委員の研修会に3名が参加してきました。



午前前は読書感想文の表彰および発表と、図書委員会の実践発表を聞きました。県三賞を受賞した本人による力の入った朗読に圧倒されました。また、茨城キリスト教学園高校の図書委員会の実践報告は1時間におよぶ長時間を時にゲームを交えながら、楽しくためになる（本校にも使えそうな）委員会の運営をしつかり発表しており、参考になりました。



参加した図書委員さん！

♥ 午後はそれぞれの分科会でテーマに沿った活動をしてきました。

* 佐伯美嘉さん・・・ビブリオバトル（土浦第二高校担当）

私が参加したビブリオバトルは会場の雰囲気良く、参加した皆さんの発表もすばらしかったです。実際に読んでみたいと思う本がたくさんありました。良い体験ができました。

* 佐瀬七海さん・・・NDCクイズに挑戦しよう（水戸工業高校担当）

NDCは数が多く、すべて覚えるのは難しいと思いましたが、グループでクイズに取り組み、貴重な経験ができました。また、他校の図書館の様子を知ることができ、参考にしたいところもありました。

* 高橋悠斗さん・・・私たちの図書館を紹介します（水戸商業高校担当）

参加者や引率で見学している先生など、たくさんの方の前で5分で自分の学校の図書館を紹介することは、とても緊張しました。資料を用意していましたが、他校ではパワーポイントを使ったりしていました。良い勉強ができました。



芥川賞・直木賞候補作発表

日本文学振興会は第158回芥川賞・直木賞の候補作を発表。両賞ともに5人がノミネートされました。選考会は来年1月16日です。『銀河鉄道の父』と『ふたご』は本校図書館にあります！他の候補作については来年度に入荷予定。

【芥川賞】『百年泥』（石井遊佳）・『雪子さんの足音』（木村紅美）・『愛が挟み撃ち』（前田司郎）

『ディレイ・エフエクト』（宮内悠介）・『おらおらでひとりいぐも』（若竹千佐子）

【直木賞】『くちなし』（綾瀬まるる）・『彼方の友へ』（伊吹有喜）・『銀河鉄道の父』（門井慶喜）

『火定（かじょう）』（澤田瞳子）・『ふたご』（藤崎彩織）



◎セカオワのさおり初の小説『ふたご』は居場所がなかったひとりの少女の葛藤と人生を通して、その少女がたどり着いた居場所の物語。

◎『くちなし』は不倫相手の腕が取れるといったSF的な要素が現れるなど独特な世界観になっている短編小説集。

◎『彼方の友へ』は雑誌への情熱を胸に生きる少女をあたたかい眼差しで描いた青春小説。

◎『銀河鉄道の父』は父を超えたい、という不変の命題に宮澤賢治も向き合っていたかと思うと彼の作品にもいちだんと親しみが湧いてくる一冊。

◎『火定』は藤原四兄弟をはじめ、寧楽の人々を死に至らしめた天然痘。パンデミックと闘う医師と、偽りの神を祀り上げて混乱に乗じる者たちなど、生と死の狭間で繰り広げられる壮大な人間絵巻。

は、この本が直木賞受賞となるか?!